



令和5年度「宮崎県公民館大会県央ブロック大会」が2月3日(土)に南郷ハートフルセンターで開催されました。

宮崎県公民館大会は、公民館活動について考える大切な機会となる大会です。今年度は、日南市と中部教育事務所が中心となって開催し、県内の公民館関係者561名が参加しました。大会テーマを「新たな時代を切り拓く公民館活動～みんなが主役の地域づくりを目指して～」とし、変化の激しいこれからの時代における公民館活動の在り方について考えました。



## 【1 アトラクション】

日南市泰平踊本町組保存会による「泰平踊」でスタートしました。泰平踊りは1707年から伝わるもので、昭和37年に宮崎県無形文化財の指定を受けています。初代藩主伊東祐兵(いとうすけたけ)公をたたえる静かな唄の中、毅然とした武士の気迫を感じることができました。



## 【2 開会行事】

宮崎県公民館連合会長、日南市長のあいさつの後、公民館活動に係る表彰が行われました。公民館振興に寄与し、特に優れた業績を残された方14名に「功労者表彰」が、自治公民館・自治会単位で優れた公民館報や自治会報を発行された15館に「優良自治公民館報」が贈られました。



## 【3 対談形式事例発表】

中部教育事務所山崎指導主事がファシリテーターとなり日南市仮屋講自治公民館の河野透(かわのとおる)館長、串間市寺里自治会の武田宏(たけだひろし)会長の事例発表を行いました。現在の公民館が抱える若者世代をどう地域づくりに取り込むかという課題が挙げられました。



## 【4 講演】

2020年、当時17歳で全国初の高校生町内会長となり、現在、鹿児島市唐湊山の手町内会長の金子陽飛(かねこはるひ)氏の講演を行いました。町内会役員だけでなく、住民全体で地域を支えるスタイルを紹介されました。課題である若者世代の地域づくりへの取り組み方について多くのご示唆をいただきました。



## 【5 お楽しみ抽選会】

中部教育事務所管内12市町村の特産物が当たる抽選会を行いました。特産物は、焼酎・ワイン等のアルコール、漬物・お菓子等の食べ物、調味料などバラエティ豊かで、当選者が出るたびに歓声があがりました。



## 【6 参加者の感想】

- 他の市町村の伝統芸能を見る機会が少ないので、オープニングの伝統芸能は良かった。
- 対談形式事例発表では、ふれあい交流事業や子どもの参加増を目的とした防災クイズなど参考になる内容だった。
- 講演は、役員の仕事の可視化・役員の仕事の集約例・可視化した仕事のファイリング等、「自治会の仕事を漠然として分かりにくいもの」から「住民一人ひとりが関わりやすいもの」に変換している努力が非常に参考になった。

今回の大会は、住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことをとおして、人づくり・地域づくりにつなげるという公民館活動の根幹を感じることができた大会でした。学校も当然、地域の中にあります。だからこそ、地域づくりに大いに関わる必要があります。そのきっかけの1つが公民館活動ではないでしょうか。地域と学校が一体となって、全員参加の地域づくりを行っていきましょう。

問合せ先: 中部教育事務所 Tel (0985) 44-3322 Fax (0985) 44-3330  
(担当: 酒匂) 代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、各学校のマネジメント力を高め、チーム学校としての教育力向上を支援します。

小学校中学年 特別の教科 道徳(宮崎県道徳教育読み物資料)『おばあちゃん はじめまして』(親切・思いやり)

【本時の内容について】

ねらい：相手の身になって考え、親切にしようとする豊かな**心豊か**を育てる。

【目に見える表層としての行為：親切 目に見えない深層としての心：思いやり】

【導入段階】「親切にできる人」に対する個々のイメージから問題意識をもたせる

親切にできる人とはどんな人？

- ・優しい人 ・人を笑顔にできる人
- ・親切って、例えばどんなこと？
- ・困っている人は誰でも助ける
- ・お年寄りに席をゆずってあげる
- ・年下の子にゆずってあげる
- ・重い荷物をもってあげる
- ・泣いている時によりそってあげる

ところで、これらの親切は「親切レベル」でどのくらいでしょうか？

泣いている時に寄り添うのはかなり難しいから90かな？

席をゆずることは「100」だね！

どうして同じ親切なのに親切レベルが違うのだろうか？

※ 内容項目の分析を的確に行い、発達の段階に応じた指導が展開できるように！

発達の段階	
低学年	相手も自分もポカポカ
中学年	相手の気持ち
高学年	相手の立場
中学生	さり気なさ

※ 島恒生氏プレゼン参照

低学年の「自分」から、「相手」に対象が変わっていることを意識して指導する。その後、高学年、中学生と段階が上がるごとに変化する内容項目も確実に把握する！

【めあて】同じ「親切」にちがいがあるのはなぜだろう？

【展開段階】個人→グループで最適解・納得解を導く

①個人思考

※ 「おばあちゃん はじめまして」を範読

資料の扱い方について

※資料は範読を基本とするが、「全体で考える時間」を確保するために、家庭学習で事前に読ませ、把握させておくことも可能である。また、範読後は教科書を片付け、投げ所を自分にするよう環境を整える。

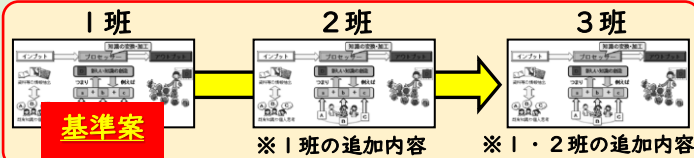
主人公の「親切レベル」を自分で考え、その理由をまとめてみよう！

主人公の親切は、高校生の行動を見てから変化している。きっと、心の中で、何か変化したからではないだろうか？

親切にすることは、学校や家で「よいこと」と聞いてきたけれど、主人公はそのことで動いたわけではない。だとすると、親切って…

※ 個人思考や協働的な学びについては、決められた時間内で行うように指導する。

※各班に発表させる時のポイント



※ 共通点、相違点、異なる考えに視点を当てた発表を徹底し、「思考」を途切れさせない工夫を！

③各班の考えを全体で協議

(共通項+追加項+異なる考え)

改めて聞くけど、同じ親切なのにどうして違いがあるのだろうか？

※ 導入時の発問との比較で子どもに変容を感得させる。

④協議を経てまとめる

【まとめ】

親切は、相手の気持ちを考えることができるかどうかで変わってくる。相手のことを思いやる気持ちが強くなることで、親切という行動が生まれる。

人が困っている時に行動することが親切だと思っていたけど、「親切にする」前の相手を思いやる気持ちこそ、大切なことだと気付くことができた。

②協働的な学び 各班の最適解・納得解

親切のちがいは、その親切が何のために行われているのか、どのような気持ちで行われているのかによって生まれる。

追加項は？ つまり 共通項は？ 異なる考えは？

何のための親切

何のために親切にするのだろうか？自分がすっきりするため？人の感謝をもらうため？褒められるため？一体何だろうか？

自分の心も温まる

親切にすると、自分の気持ちが温かくなることを学んだよね！親切にしないと、何か自分の心の中が暗くなる感じがする。

人の立場に立つ

相手の気持ちを考えることが大切だと思う。その気持ちをどこまで分かかってあげられるかが親切にできるちがいで？

【終末段階】学習内容の確認と教師の説話で余韻を残す

レベル② 「実社会・実生活での活用をイメージした」場合=教師の話からの振り返り

この前、重い荷物をもったお年寄りの方のお手伝いをしました。なぜそうしたかという、先生にもおばあちゃんがついて、いつも荷物をもつ時に「大変だ」という姿を思い出して、その「大変な気持ち」がよく分かったから手伝ったんです。

私もおじいちゃんがついて、歩くのも辛そうです。だから、周りのお年寄りの方を見て辛そうだったら、おじいちゃんを助けるみたいに、自分にもできたらいいな！